

第5学年道徳学習指導案

日 時 平成21年10月9日(金) 5校時
児 童 5年 男子2名 女子6名 計8名
指導者 千 葉 泰

1 主題名 公共物を大切に【4－(1) 公德心, 規則の尊重, 権利・義務】

2 資料名 まいごのカナリア号 (出典 みんなのどうとく5年 学研)

3 主題設定の理由

(1) 価値について

学習指導要領第3章, 道徳の第5学年及び第6学年の内容の4「主として集団や社会とのかかわりに関すること」の(1)に「公德心をもって法やきまりを守り, 自他の権利を大切にし進んで義務を果たす。」とある。

社会生活は法やきまりによって快適に営まれるように工夫されてきているが, それらの支えとなっているのは, 一人一人の善意をもとにするマナーやエチケットである。公德心に視点を置き, 社会生活をよりよくしていこうとする気持ちを育てたい。

(2) 児童について

本学級の児童は普段から落ち着いて暮らしており, きまりをよく守り, まじめに行動する児童が多い。そして, 学級会での話し合いでは, 模範的な発言だけで取り組みやきまりを決めてしまっても学級としてまとまって行動することができる。そのためか, 実際にできるか見通しを立てたり, 相手の様子や気持ちを推し量ったりするなど深く考える経験が不足していて, うまくできていない。

授業中の発表は全員が発言し, 活発に話し合いをすることができる。また, 互いに意見を認めることもできる。しかし, 自分の思いにこだわり, 自分の考えと違う考えや相手の気持ちを深く考えることは十分身に付いているといえない。この授業では生活をよりよくしようとする心や公德心と, それを支える善意について深く考えさせ, 自分の考えの変容に気づかせていきたい。

(3) 資料について

無料で自転車を貸し出しているが, 無責任な借り手のために悩まされる話である。困っているときは, ほかの人の善意をありがたく思うが, 利用したあとでは自転車を返すという最低限のマナーさえ守れない人がある。このような現状をよく考えさせたい。

(4) 他の教育活動との関連

海岸清掃をしたときのことをふり返り, 公共物をよりよく利用するために工夫できることを考え, 実行できるような活動を行う。

また, 委員会活動や係活動で, 学校あるいは学級の児童全員が過ごしやすいようにきまりや取り組みを作り, 自ら率先して守ろうとする気持ちをもたせる。

4 本時の指導

(1) 目標

社会生活をよりよくしようとする心の大切さを知り、決まりやマナーを守ろうとする態度を育てる。

(2) 本時の指導の構想について

本時では意図的交流を通じて社会をよりよくしようとする心や人の善意のありがたみについてとらえさせ、公德心について考えさせていきたい。

導入段階では、1学期に行った海岸清掃をもとに、その時の気持ちをふり返り、吉浜海岸をどのように使ってほしいかを話し合うことによって本時の価値について意識化を図る。

展開段階では、捨てられる部品をリサイクルして無料で貸し出し、善意を貫く父の姿をとらえさせ、その後、利用した後には自転車を返すという最低限のマナーさえ守れない人について考えさせる。話し合い活動では、2人の話を聞いたときの昭夫の気持ちを考えさせ、善意を信じるか、取り決めを作るか、やめてしまうかの3つの観点を明確にして意図的交流の場を設け、児童が普段気づけない善意のありがたみや社会をよりよくしていく心の大切さに迫らせたい。

終末段階では、新校舎が完成した当時の卒業生のお話を聞くことにより、これまでの生活をふり返り、公德心について考え、今まで以上に公共物を大切にすることや、学校生活をよりよくするために必要なきまりやマナーを守ることについて感得させたい。

(3) 展開

階	学習活動と主な発問(主発問◎)	予想される反応	評価(□), 留意・支援(☆)
導入 5分	1 海岸清掃をしたときの様子をふり返る。 ◎みんながきれいにした吉浜海岸をどのように使ってほしいですか。	<ul style="list-style-type: none"> ・きれいに使ってほしい。 ・マナーを守ってほしい。 ・ゴミをすてないでほしい。 	☆スライドでふり返らせる。 【生活を見つめての交流】 ☆自分たちが清掃で関わった公共物を取り上げるにより本時の価値に関心を持たせる。
展開 30分	2 資料「まいごのカナリア号」を読み、昭夫の気持ちを中心に話し合う。 ◎「みんな、うまく利用してくれるといいね。」と言ったときの昭夫君はどんな気持ちだったと思いますか。 ◎道に横たえられたまま、塗料がはがれている自転車を見つけたときの昭夫はどんな気持ちだったと思いますか。	<ul style="list-style-type: none"> ・たくさんの人に使ってほしい。 ・お父さんはすごい。 ・きちんと使ってほしい。 ・自転車もリサイクルされてうれしいと思う。 ・ひどい。 ・何でこんなことをするの。 ・もう自転車を貸すのはやめよう。 	☆父の善意(利用者への思いやりとリサイクル)の気持ちと昭夫が父のこと(無料貸出のこと)を誇らしく感じていることをしっかりとらえさせる。 ☆父の善意も知らず、自転車を返すという最低限のマナーすら守れない人たちに怒りや憤りを感じさせる。


<p>展開</p> <p>30分</p>	<p>○その後も利用者のマナーに悩まされる父と弘さんの気持ちを考えましょう。</p> <p>◎2人の考えを聞いたときに昭夫君はどんな気持ちだったと思いますか。</p> <p>・選んだわけは何ですか。</p> <p>○新しい方法ではどんな気持ちになりますか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・マナーをなんとか守らせたい。 ・もうやめてしまいたい。 ・人の善意を信じたい。 ・たいへんでも喜んでくれる人のためにがんばろう。 ・善意のある人はちゃんと返しに来る。 ・返さない人は減らない。 ・きまりを作らないとマナーは守れない。 ・ちゃんと借りる人を疑うようなことはしたくない。 ・学校でもいろいろなきまりがあるし、守るのは当たり前。 ・必ず返しに来よう。 ・大切に自転車を使おう。 	<p>→ワークシート</p> <p>□書き終わったら感想を見せ合っ て、相互評価する。</p> <p>・座席移動して話し合う。</p> <p>□善意や良心を信じる（正）、信じられない（負）、取り決めを作る（揺）の気持ちに気づくことができたか。</p> <p>【負の場面を意図的に設定し、自分の生活と見比べての意見交流】</p> <p>☆資料から普段の様子に広げ、ふり返らせる。</p> <p>【自分に置き換えての意見交流】</p> <p>・新しい方法で借りるときに、どんな気持ちになるか考えさせる。</p>
<p>終末</p> <p>10分</p>	<p>3 今までの自分を振り返る</p> <p>○これからは公共物をどのように利用したいですか。感想を発表しましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・次に使う人のことも考えて大切に使いたい。 ・学校や海は先輩達が大切にしてきたから僕たちもがんばりたい。 	<p>☆DVDを見て、校舎も様々な人たちの善意によって利用されてきたことを知り、公共物を大切にしていって心に気づかせる。</p> <p>□友達の意見を聞いて気づいたことを書かせ、自分の考えの変化に気づくことができたか。</p> <p>→ワークシート</p>

(4) 評価

社会生活をよりよくしようとする心の大切さを知り、決まりやマナーを守ろうとする気持ちをもつことができたか。


5 板書計画

○公共物を大切に




きれいに使ってほしい
マナーを守ってほしい
ゴミをすてないでほしい

父



人の善意を
信じたい
たいへんでも
喜んでくれる
人のために
がんばろう


昭夫



きまりを作らないと
マナーは守れない
少しの人でも借りて
くれればいい


まただめかも
返さない人は減らない

弘さん



ひどい
何でこんなことを
するの
もう自転車を貸す
のはやめよう

母



たくさんの人に使
つてほしい
お父さんはすごい
きちんと使って
ほしい
自転車もリサイク
ルされてうれしい

カナリアをかわいがってやってください。
次の人のためにも

6 資料分析

資料名 まいごのカナリア号 (出典 みんなのどうとく5年 学研)

ねらい 社会生活をよりよくしようとする心の大切さを知り、決まりやマナーを守ろうとする態度を育てる。

場面	○父が捨てられていく自転車の部品を集めリサイクルし、自転車の無料貸出を始める。	○自転車を返しにこない人が多くなってきて、町のあちこちに飛び回って探しに行く。	○様々な取り組みをしても利用者のマナーの悪さに悩まされる。	○新しい看板が下がり、相手の目を見て良心に訴える方法が考えられる。
主人公の意識構造	<p style="text-align: center;">喜び</p> <p>○捨てられものをもう一度利用するなんてお父さんはえらい。たくさん人の役に立ってほしい。</p>	<p style="text-align: center;">怒り, 憤り</p> <p>○どうしてこんなことをするのか、借りたものを返すこともできないのか。</p>	<p style="text-align: center;">善意 不信</p> <p>○ちゃんと返してくれる人もいるけれど、相変わらずマナーを守らない人がいる。みんなのためにがんばっているのに…。</p>	<p style="text-align: center;">善意, 公德心 不安</p> <p>○うまくいってほしい。みんなが喜べるようになってほしい。(もしかしたらだめかもという不安もある)</p>
発問	○「みんな、うまく利用してくれるといいね。」と言ったときの昭夫君はどんな気持ちだったと思いますか。	○せまい道に横たえられたまま、と料がはがれている自転車を見つけたときの昭夫はどんな気持ちだったと思いますか。	(利用者のマナーの悪さに悩まされて) ○弘さんはどんな気持ちになったと思いますか。 ○お父さんはどんな気持ちになったと思いますか。	○「どうか、これからはうまくいきますようにー」と言った昭夫君はどんな気持ちだったと思いますか。
児童の反応	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなに使ってほしい。 ・廃棄処分の自転車も喜ぶ。 ・きちんと使ってほしい。 ・お父さんすごい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ひどい。 ・何でこんなことをするのか。 ・もう自転車を貸すのはやめよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・マナーをなんとか守らせたい。 ・もうやめてしまいたい。 ・人の善意を信じたい。 ・どうしたらマナーを守ってくれるだろうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・次の人のことを考えてマナーを守ってくれる。 ・お父さんの気持ちをわかって、返してくれる。 ・返さない人は減らない。 ・きまりを作らないとマナーは守れない。

番名前

今回のテーマ

について考えよう。

一 今の自分をふり返ってみよう

<hr/> <hr/>

二 自分の考えを書こう

①

<hr/> <hr/>

②

<hr/> <hr/>

三 授業をふり返ったり、友達の話を聞いたりして気づいたことを書いてみよう

<hr/> <hr/>

ふりかえってみよう (◎ ○ △)

気づいたことを話すことができたか。

友だちの意見を認め、考えを深めながら聞くことができたか。